クイックガイド

準　備

ファイルを転送する

基本操作

再生する

設定を変える

付　録

デジタルオーディオプレーヤー

型名 XA-V80-W/-B/-R/-A
XA-V40-W/-B/-R/-A
XA-V20-W/-B/-R/-A

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前に

お読みになったあとは、付属のCD-ROMと共に大切に保管してください。また、「**安全にご使用いただくために**」(⇒ 8ページ)も必ずお読みいただき、安全にお使いください。

ユーザー登録のおすすめ

製品のサポート情報、イベント情報などの提供サービスなどをご利用いただけます。

http://www.victor.co.jp/reg/

LVT1868-001B

もくじ

ファイルを転送する

基本操作

もくじ(つづき)

再生する

設定を変える

もくじ(つづき)

付録

■ ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

- Microsoft、Windows、Windows VistaおよびWindows Mediaは米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- 本クイックガイドに記載の他のシステム名および製品名は通常、そのシステムまたは製品の開発メーカーの登録商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。「安全にご使用いただくために」にしたがって正しい取り扱いをしてください。

安全にご使用いただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

人が死亡する、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❗記号は行為の指示を告げるものです。

本体について

⚠ 警告

■ **自動車やバイク、自転車などを運転中は使用しない**

- 運転中に使用すると、交通事故の原因となります。
- また、歩きながら(特に踏切や横断歩道など)使用するときも周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■ **分解・改造しない**

- 内部に金属物が入ると、故障や火災、感電の原因となります。
- 点検や修理は販売店にご依頼ください。

■ **幼児、子供の手の届く場所に放置しない**

- 誤ってケーブル類を首に巻き付け、窒息を起こす原因となります。

■ **電池の取り扱いに注意する**

- 内蔵充電池が液漏れしてしまったときは、よく拭きとってください。
- 万一、漏れた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

■ **大音量で長時間つづけて聞きすぎない**

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。
  音量は徐々に上げましょう。

■ **水をかけたりぬらしたりしない**

- 機器を水がかかる場所(風呂場や台所など)で使用すると、内部に水が入り、火災や故障の原因となります。

使用上のご注意

■ 本体の置き場所について

次のような場所には置かないでください。変形や変色、故障の原因になります。

- 窓を閉めきった自動車の中(特に夏期)
- 風呂場など湿気の多いところ
- ホコリの多いところ
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- 腐食性のガスなどが発生するところ

■ 航空機の中では電源を入れないでください

機内の電子機器に影響を与える恐れがあります。機内では必ず電源を切っておいてください。

■ 落としたり強い衝撃を加えないでください

破損や故障の原因になることがあります。

■ 汗や水に濡れた手で操作しないでください

感電や電子回路のショート、腐食の原因となります。身につけて使用する場合、汗などの水分が内部に入らないようにしてください。

■ 雷が鳴り出したら電源を切り、ヘッドホンをはずし、使用しないでください

感電の原因になります。

本製品について

- 本機をお買い上げいただきましたら、まず本機の充電を行ってください。
  (⇒ 23ページ)
- 操作ができなくなったときや、パソコンとの接続がうまくいかないときは、本機のリセットを行ってください。
  (⇒ 93ページ)
- 本機をパソコンに接続する前に、必ずWindows Media Player 11(付属のCD-ROMに収録)をパソコンにインストールしてください。
  (⇒ 21ページ)

＊ 本製品で記録したものを「私的な目的」以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。
＊ 何らかの不具合により、正常に録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
＊ 大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをおすすめいたします。

本書はクイックガイドです。よく使う機能や基本操作について説明しています。
本機のすべての機能を知りたいときや、より詳しい操作説明については、付属CD-ROMに収録された詳細操作ガイド(取扱説明書)をご覧ください。

本書の読み方

本書をより有効に活用していただくために、本書の読みかたをご紹介します。
本書は以下の構成になっています。

第1章 はじめにお読みください
⇒13ページ

第2章 ファイルをパソコンに取り込んで、本機に転送する
⇒29ページ

第3章 基本操作
⇒45ページ

音楽再生
第4章 再生する
4-1. 音楽を再生する
⇒50ページ

画像再生
第4章 再生する
4-3. 画像を見る
⇒58ページ

ビデオ再生
第4章 再生する
4-4. ビデオを見る
⇒62ページ

第5章 設定を変える
⇒67ページ

第6章 お問合せ・アフターサービス
⇒101ページ

本書はXA-V20-Bで説明しています。

より詳しい操作説明については、付属CD-ROMに収録された詳細操作ガイドの第6章「さまざまな機能」を参照してください。

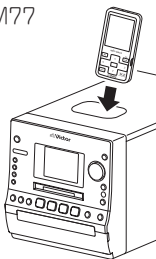
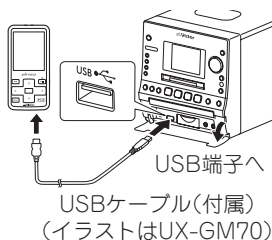
第 1 章　はじめにお読みください

1-1. 本機の特長

音楽

■ オリジナル高音質化技術「K2テクノロジー」搭載 K2 TECHNOLOGY
デジタル圧縮による劣化を補正し、原音に近い音質を再現。

■ マスター音源に迫る「スタジオ・セッティング」モード
本機で、ビクタースタジオセッティングの高音質が楽しめます。音質チューニングには、音のプロフェッショナルであるビクタースタジオのレコーディングエンジニアが参加。オーバーサンプリングK2処理(最大96kHz/24bit)により、マスター音源に込められたアーティストの想いをより忠実に再現します。

■ WMA-DRM10(著作権保護付)対応
本機でのWMA-DRMファイルの再生はもちろん、対応のメモリーコンポ※とUSB接続して、高音質なデジタル再生が楽しめます。外部オーディオ機器との接続については、95ページを参照してください。インターネット定額音楽配信サービスにも対応。

※:UX-GM77/GM70/GM50、RD-M1、UX-DM8

- UX-GM77ではジャケット画像を本機で表示しながら再生することができます。

■ トータルな音造りが可能な「サウンド工房」

聴く人の特性や再生環境にあわせて、ヘッドホンの音質を最適化でき、より細かな音質の調整が可能です。新開発のベストマッチング高音質ヘッドホンを付属。

■ さまざまな音楽フォーマットに対応

MP3、WMA、WMA-DRM10、WAVの音楽フォーマットに対応。

■ ライブの雰囲気を楽しめる「ギャップレス再生」

曲間の無音部分を削除して再生する「ギャップレス再生」機能で、ライブの臨場感あふれるサウンドを楽しめます。

■ 気分にあった曲を簡単に選べる「ホットセレクション」

リスニング傾向を分析し、お好みにあった再生リストを自動作成します。気分や雰囲気にあわせて気軽に選曲できます。

■ 高速検索エンジン「インデックスサーチ」搭載

アーティスト名や曲名などの頭文字で検索し、大量の音楽の中からでも、聴きたい曲をすばやく探せます。

デザイン

■ 2.0型 ハイコントラストカラー液晶

広視野角 2.0型 ハイコントラストカラー液晶を搭載。見やすい画面で快適に操作でき、画像やビデオを鮮やかに再生できます。

ビデオ

■ ビデオファイル(WMV)の再生に対応

Windows XP/VistaパソコンからWindows Media Playerを使って本機にビデオファイルを転送し、再生できます。

外部機器連携

■ 外部機器との連携を強化

対応メモリーコンポやカーオーディオシステムなど外部機器とのスムーズな連携ができ、さまざまな環境で音楽を楽しめます。

1-2. 再生できるファイルについて

準備

■ 音楽ファイル

- MP3 (8kbps～320kbps、8kHz～48kHz、VBR)
- WMA-DRM、WMA (8kbps～320kbps、8kHz～48kHz、VBR)
- WAV (16bit、リニアPCM)

■ 画像ファイル

- JPEG

■ ビデオファイル

- WMV

■ データ数の制限

音楽ファイル + 画像ファイル(ジャケット画像含む)
　+ 動画ファイル :9999
プレイリスト:9999
ファイル数 + フォルダ数:20000

■ 拡張子

音楽ファイル

- MP3:「.MP3」「.mp3」
- WMA-DRM
  WMA:「.WMA」「.wma」
- WAV:「.WAV」「.wav」

画像ファイル

- JPEG:「.JPEG」「.jpeg」
  「.JPG」「.jpg」

ビデオファイル

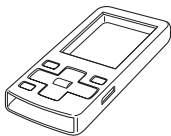
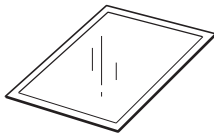
- WMV:「.WMV」「.wmv」

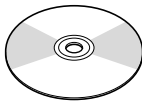
- WMA Lossless、ProfessionalおよびVoiceには対応していません。
- プログレッシブJPEGファイルには対応していません。
- ATRACのオーディオファイルには対応していません。
- AACのオーディオファイルには対応していません。
- WMV-DRMには対応していません。

1-3. 付属品

ヘッドホン(1)
※ Mサイズのイヤーパッドが
装着されています。

イヤーパッド
(Sサイズ、Lサイズ)
(各サイズ2個1組)

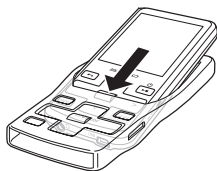
シリコンケース(1)

保護シート(画面用)(1)
※ 貼り直しが可能です。

USB 2.0ケーブル(1)

CD-ROM(1)

付属のCD-ROMの内容

- Windows Media Player 11
- 詳細操作ガイド(取扱説明書)
- alneo V Seriesアップデータ
(XA-V80/40/20のメンテナンスのためのツールです。)

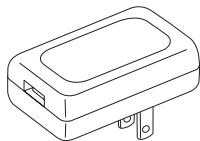
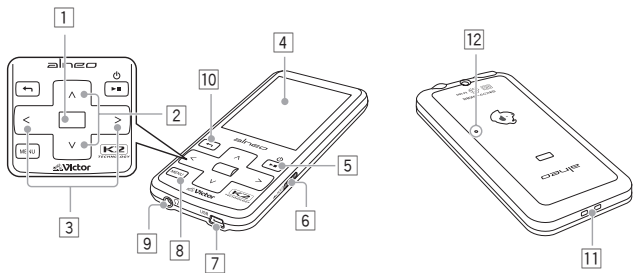
付属品(つづき)

■ シリコンケースを本機に装着するには

シリコンケースを本機に装着するときは、図のように前面から装着してください。
底面から無理に装着しようとすると、シリコンケースが破れる恐れがあります。

■ 別売品のご案内

本機はパソコンのUSB端子で充電できますが、家庭用コンセントで充電したい場合は、こちらの別売品をお買求めください。

USB ACアダプター(品番:AA-R513)

USB ACアダプター(AA-R513)を使って家庭用コンセントで充電しているときは、充電中でも本機を操作することができます。

1-4. 各部の名称

1 ▭(確定)ボタン
リスト画面、音楽再生画面で長押して曲をお気に入りに登録します。

2 ∧(上へ)/∨(下へ)ボタン
音楽再生時、音量を調節します。

3 <(前へ)/>(次へ)ボタン

4 表示窓

5 ⏻/▷□(電源、再生/停止)ボタン
押しつづけて、電源を入れる/切る。

6 HOLD(ホールド)スイッチ
ボタンをロックして誤動作を防ぎます。

7 USB端子

8 MENU(メニュー)ボタン
サブメニューを表示します。長押しするとセッティングメニューを表示します。

9 ヘッドホン端子

10 ↰(戻る)ボタン
前の画面に戻ります。押しつづけるとトップメニュー画面を表示します。

11 ストラップ取り付け穴
市販のストラップを取り付けるときに使います。

12 リセットボタン
操作できなくなったときに押します。

準備

1-5. パソコンに必要なシステム構成

対応OS	Microsoft® Windows Vista® (Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate) Microsoft® Windows® XP (Home Edition/Professional)SP2以降
CPU	Intel® Pentium® Ⅲ350MHz以上
メモリ	256MB以上
ハードディスクの空き容量	100MB以上
ドライブ	CD-ROMドライブ
ポート	USBポート(USB 2.0/1.1)

ご注意

- パソコンによっては、上記の動作環境を満たしていても、本機が正常に動作しない場合があります。
- 64ビット搭載のパソコンには対応していません。

- **Microsoft、Windows Mediaは米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。**
- **本クイックガイドなどに記載の他のシステム名および製品名は通常、そのシステムまたは製品の開発メーカーの登録商標です。**
- **Windows Media Player 11以降のバージョンと、Windows XP/Vista以降のOSについては、弊社ホームページをご覧ください。**
  お問い合わせ･サポート「製品Q&A」
  http://www.jvc-victor.co.jp/support/index.html
  alneo style!
  http://www.jvc-victor.co.jp/alneo/index.html
- **本書と付属CD-ROMに収録された詳細操作ガイドでは、Windows XP、Windows Media Player 11で説明します。**

1-6. 付属のCD-ROMをインストールする

本機を充電したり、音楽ファイルを転送する前には必ずWindows Media Player 11をインストールしてください。
Windows Media Player 11以前のバージョンやこれ以外の音楽転送ソフトでは正常に動作しません。

Windows Media Player 11、詳細操作ガイドをインストールする

インストールを始める前に、他のプログラムを終了してください。

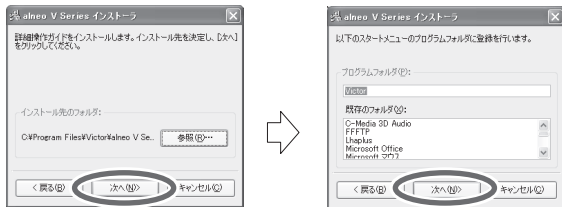
1 パソコンのCD-ROMドライブに付属のCDを入れる

alneo V Seriesインストーラ画面が表示されます。

- 表示されない場合は、「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブを選び、「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 画面の指示にしたがって、お進みください。

2 インストールする言語を選ぶ

- 英語を選ぶと、Windows Media Player 11 英語版がインストールされます。
- 詳細操作ガイドは日本語版です。

3 詳細操作ガイドのインストール先を確認して「次へ」をクリックする

インストールが始まります。
すでにWindows Media Player 11がインストールされている場合は確認画面で「いいえ」を選んでください。
アップデータと詳細操作ガイドがインストールされます。

4 画面に「インストールが完了しました」と表示されたら「OK」をクリックする

付属のCD-ROMをインストールする(つづき)

■ Windows Media Player 11のバージョンを確認する

1 「スタート」ー「すべてのプログラム」ー「Windows Media Player」の順にクリックする

Windows Media Playerが表示されます。
メニューバーが表示されないときは「プレイビュー」の左側で右クリックし、「表示」ー「クラシックメニュー」をクリックしてください。

2 「ヘルプ」ー「バージョン情報」の順に選ぶ

「Windows Media Player 11」と表示されることを確認してください。

■ 詳細操作ガイド(マニュアル)を見る/アップデータを使う

「スタート」ー「すべてのプログラム」ー「Victor」ー「alneo V Series」の順にクリックすると、「Adobe Readerの取得」、「alneo style!」、「アップデータ」、「アンインストール」、「マニュアル」、「ユーザー登録」が表示されます。必要な項目をクリックしてください。

- 「アンインストール」をクリックすると詳細操作ガイド(マニュアル)とアップデータが削除されます。(Windows Media Playerは削除されません。)

■ アップデータについて

- alneo Vアップデータの使いかたについては、alneo Vアップデータの画面上にある「ReadMe」ボタンをクリックし、ReadMeファイルをご覧ください。
- アップデートするときは、本機のUSBモードを「オート」にしてください(詳しくは、付属CD-ROMに収録されている詳細操作ガイド(⇒149ページ)を参照してください)。USBモードが「MSC」になっていると、アップデートできません。

1-7. 充電する

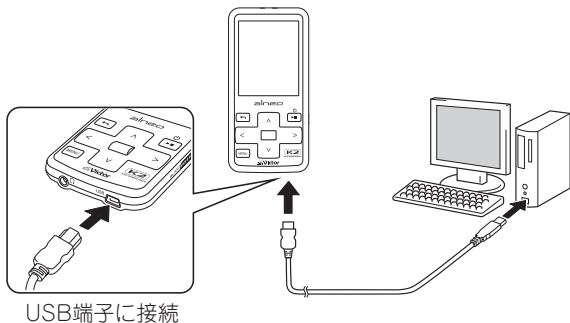
初めて本機をご使用になるとき、または充電池の残量が少なくなったときは、内蔵充電池を充電してください。

• 充電ができない場合は、▯の上に赤い⚡マークが点滅します。

パソコンで充電する

1 パソコンの電源を入れ、パソコンが起動してから、付属のUSBケーブルで本機に接続する

Windows Media Player 11 をインストールした Windows XP/Vista パソコンをお使いください。

USB端子に接続

「MTP接続中」の画面が表示され、充電が開始されます。
充電中は▯の上に黄色い⚡マークが点滅します。

パソコンで充電

満充電になると黄色い⚡が点灯します。

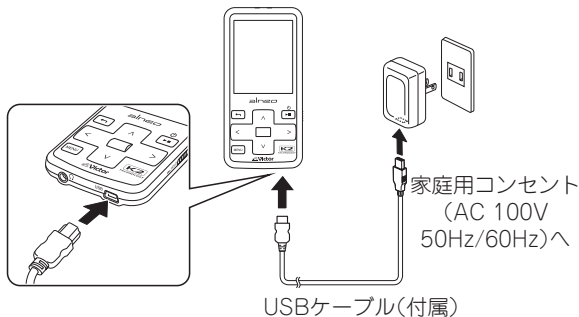
本機をパソコンに接続しているときは本機の操作はできません。音楽を再生中に接続すると再生は停止します。

次のページの「ご注意」もお読みください。

充電する（つづき）

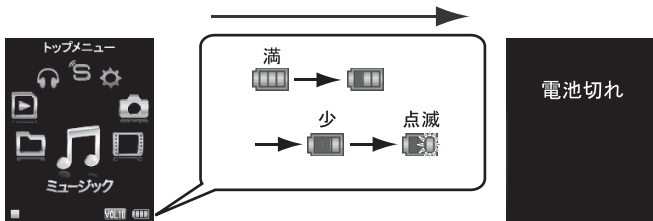
ご注意

- デスクトップパソコンに接続して充電する場合は、パソコンの電源オン（スタンバイ以外の状態）で充電してください。
- ノートパソコンに接続して充電する場合は、パソコンにACアダプターを接続して、電源オン状態で充電してください。
- **多くのノートパソコンは、工場出荷時に省エネモードに設定されています。お使いのパソコンの電源設定によっては、充電中にパソコンをしばらく放置したり、ノートパソコンのモニターを閉めると、スタンバイ、休止モードになることがあります。**
  このような場合は本機は充電されません。パソコンの電源設定を変更してください。パソコンのスタンバイ、休止モードについてはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USB 接続での充電中は本機を操作することはできません。
- 充電は周囲の温度が5 ℃～ 35 ℃の所で行ってください。

別売りのUSB ACアダプター（品番：AA-R513）を使って充電する

USB ACアダプターで充電しているときは、充電中も本機を操作できます。

- 電源が入った状態でAC アダプターを抜き差しすると、電源が切れることがあります。

■ バッテリーインジケーターの見かた

目盛りが少なくなるほど電池残量が減っていきます。点滅表示後に「電池切れ」と表示されたときは電源が切れます。充電してください。

■ パソコン、または別売りUSB ACアダプターに接続して充電を開始しても何も表示されないとき、または、以下の画面が表示されるときは

充電したまましばらく(約3分〜5分)お待ちください。表示可能になると自動で画面が表示され、パソコンで充電している場合は本機がパソコンで認識されます。

しばらく待っても何も表示されないときは、リセットボタンを1回押してください(⇒93ページ)。

黄色の アイコンが点滅している場合は、充電していることを表します。

パソコンで充電

USB ACアダプターで充電
（電源オン時）

充電する（つづき）

充電が完了すると、黄色の が点灯します。パソコンでの充電中は「充電完了しました」と表示されます。
本機の電源がオフの状態でUSB ACアダプターを使って充電した場合は、充電が完了すると電池マークが全点灯します。

この画面が表示されたときは、充電しているパソコンの電源がオフ、休止、スタンバイになっているため充電ができなくなっています。充電を継続するには、本機を外してパソコンの電源設定を変更してから、再度本機を接続してください。

■ 内蔵充電池について

- 充電池残量がない状態から充電したときの充電完了時間の目安は、約3.5 時間です。充電時間は充電池残量や本機の使用状況により異なります。
- 電池は約500 回充電できます。
- 初めて充電するときや長時間使用しなかったときは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か充電と再生を繰り返すと正常に戻ります。
- 長時間本機を使用しないときは、内蔵充電池の性能劣化を防ぐため、月に1 回以上は充電してください。
- 充分に充電をしても使用できる時間が短くなったと感じられるときは、内蔵充電池の寿命です。内蔵充電池の交換が必要になります。

■ 内蔵充電池の交換・廃棄について

- 内蔵充電池の交換は販売店やビクターサービス窓口にご依頼ください。
- 本機を廃棄するときは、ビクターサービス窓口にご相談ください。

1-8. 画面表示について

「表示時間」設定が「常時表示」以外に設定されている場合、一定時間（お買い上げ時の設定:30秒）操作を行わないと、画面表示が暗くなります。

表示時間は「セッティング」メニュー－「表示設定」－「表示時間」（⇒87ページ）で設定します。常時表示/15秒/30秒/60秒から選べます。

画面を表示させるには□を押してください。

1-9. 電源を入れる/切る

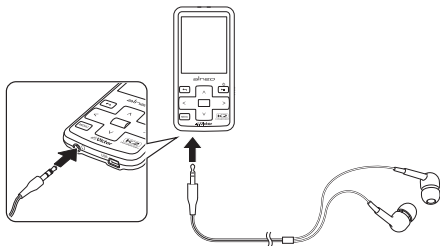
電源を入れる　：　画面が表示されるまで⏻/ ▷■ を押しつづけます。

電源を切る　：　「終了します」表示がでるまで⏻/ ▷■ を押しつづけます。

「自動電源オフ」が設定されている場合、一定時間（お買い上げ時の設定:1分）操作を行わないと、本機の電源は自動で切れます。「自動電源オフ」の設定については、「セッティング」メニュー－「システム」－「自動電源オフ」（⇒90ページ）で設定してください。

1-10. ヘッドホンを接続する

ヘッドホンを取り付ける

ヘッドホンをヘッドホン端子に接続します。

第２章　ファイルをパソコンに取り込んで、本機に転送する

2-1. Windows Media Player 11を使って取り込む

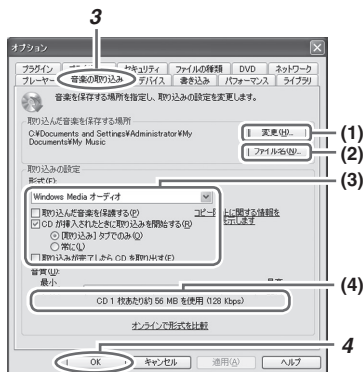
■ 音楽CDから音楽ファイルをパソコンに取り込みます。

1 **Windows Media Player 11を起動する**

2 **「取り込み」タブを右クリックし、「その他のオプション」をクリックする**

3 **「音楽の取り込み」タブをクリックし、ウィンドウを開いて、必要に応じて設定を変更する**

初期設定

(1) 保存先:「マイドキュメント(My Document)」ー「マイミュージック(My Music)」フォルダ内に自動的にフォルダが作成されます。
(2) ファイル名の付け方:次のようにファイル名がつけられます。
(例:01曲名.wma)
(3) データ形式:Windows Mediaオーディオ(WMA)、MP3または、WAVを選びます。

(4) 推奨音質:128kbps (WMA:48〜192kbps、MP3:128〜320kbps の範囲で選べます。)

4 **「OK」をクリックし、「オプション」ウィンドウを閉じる**

5 **音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する**

6 **「取り込み」タブをクリックする**

CDのトラックリストがWindows Media Player 11の画面に表示されます。

7 「 取り込みの開始」をクリックする

音楽の取り込みが始まります。

- チェックマークで取り込むトラックが選択できます。必要のないトラックはチェックを外します。
- インターネットに接続しておくと、アルバム情報が取得されます。アルバム情報が取得されない場合はWindows Media Player 11のアルバムジャケットの位置で右クリックし、「アルバム情報の検索」をクリックします。
- CDに関連付けられたジャケット画像がある場合は、アルバム情報と一緒に取得されます。

6

チェックマーク

7

2-2. Windows Media Player 11を使って転送する

■ パソコンから音楽ファイルを本機に転送します。

エクスプローラを使って本機にファイルを転送する場合は、36ページをご覧ください。

あらかじめパソコンの電源を入れて、起動していることを確認してください。

1 **付属のUSBケーブルで本機をパソコンに接続する**

本機の表示窓に右の画面が表示されます。
パソコンの画面に「Portable Device」画面が表示されます。

- 矢印が回転しているときは、USBケーブルを抜かないでください。

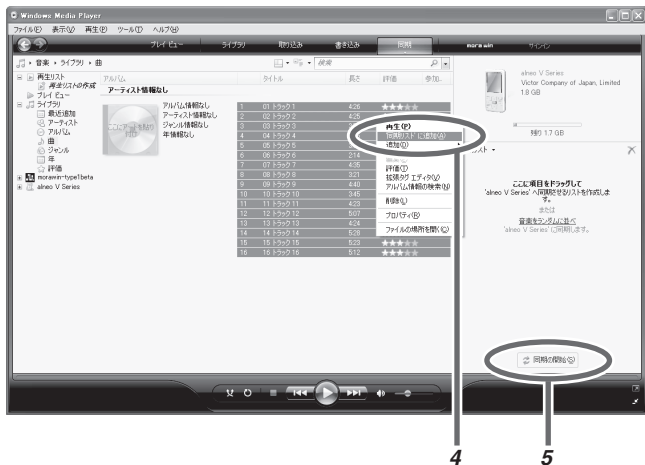
MTP接続中
解除しないで下さい

2 **「デジタルメディアファイルをこのデバイスに同期させます」を選び、「OK」をクリックする**

「デバイスの設定」画面が表示されます。

3 **内容を確認して「キャンセル」または「完了」をクリックする**

「キャンセル」をクリックすると手動でファイルを転送できます。手順4へ進んでください。
「完了」をクリックするとファイルの転送が始まります。本機とパソコンを接続するたびに自動的にファイルを転送します。
Windows Media Player 11の「同期」画面が表示されます。

4 **転送したい音楽ファイルを右クリックし、表示されるメニューから「'同期リスト' に追加」を選ぶ**

5 **「同期の開始」をクリックする**

選択した音楽ファイルが本機に転送されます。転送中は本機の表示窓の矢印が回転します。

- 同期を途中でやめたいときは、「同期の中止」をクリックします。

6 **転送の終了を確認してから、USBケーブルを抜く**

本機の表示窓に「DB更新中」と表示されます。

（DB:データベース）

同期の設定を変える

1 本機とパソコンを接続後、Windows Media Player 11の「同期」タブの▼から「alneo V Series」ー「同期の設定」を選ぶ

「デバイスの設定」画面が表示されます。

2 「このデバイスを自動的に同期させる」にチェックを入れる

3 使用可能な再生リストから同期させたい再生リストを選んで「追加」ボタンをクリックする

選んだ再生リストが「同期させる再生リスト」に移動します。

4 「完了」ボタンをクリックする

同期が始まります。本機をパソコンに接続するたびに、選んだ再生リストが自動的に同期されます。

■ 自動同期をやめるには

上記の手順2で「このデバイスを自動的に同期させる」のチェックを外し、「完了」ボタンをクリックします。

- 自動同期が設定されている場合、ライブラリに登録されているファイルをパソコンから削除した後、本機を接続すると、本機内の同じファイルも削除されます。
- パソコンに接続しているときは、本機での操作はできません。本機で再生中にパソコンと接続すると、再生が停止し、本機表示窓に「MTP接続中」と表示されます。
- Windows Media Player 11 をイントールした Windows XP/Vista パソコンをお使いください。Windows Media Player 11 以前のバージョンではお使いになれません。また、Windows Media Player以外の音楽転送ソフト、および Windows XP/ Vista 以外の OS では動作保証しておりません。
- Windows Media Player 11 以降のバージョンと Windows XP/Vista以降の OS については、弊社ホームページ「製品Q&A」および「alneo style!」をご確認ください。
- パソコンに接続すると前回の停止位置の情報が消去されます。次に再生をするときは、すべてのトラックの 1曲目から再生を始めます。
- 音楽データの転送方法の詳細は、Windows Media Player 11 のヘルプをご覧ください。
- USB ハブや USB 延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしません。
- 同時にお使いになる USB 機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 接続または転送のときに、音楽ファイルなどのデータの消失、破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

2-3. エクスプローラを使って転送する

Windows Media Player 11 を使用せずに、ドラッグアンドドロップで音楽ファイルを直接転送します。

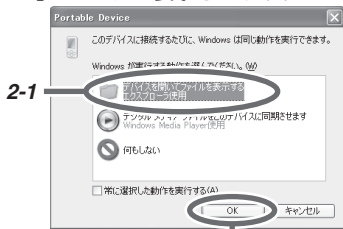
- USB接続時に、本機のUSBモードが「オート」(初期設定)に設定されている場合は、MTP優先で自動認識されます。
- プレイリスト(再生リスト)を転送するには、Windows Media Player 11 を使用してください。

1 付属のUSBケーブルで本機をパソコンに接続する

本機の表示窓に右の画面が表示されます。
パソコンの画面に「Portable Device」画面が表示されます。

- 矢印が回転しているときは、USBケーブルを抜かないでください。

2 「デバイスを開いてファイルを表示する」を選び、「OK」をクリックする

「alneo V Series」フォルダが表示されます。

3 「Internal Storage」フォルダをダブルクリックする

「Internal Storage」フォルダが表示されます。

4 音楽ファイルまたは音楽ファイルを含むフォルダを「Music」フォルダ内にドラッグアンドドロップする

5 転送の終了を確認してから、USBケーブルを抜く

本機の表示窓に「DB更新中」と表示されます。

接続または転送のときに、音楽ファイルなどのデータの消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

2-4. 画像ファイルを転送する

画像ファイルをデジタルカメラなどからパソコンに取り込み、本機に転送して保存・表示できます。ここでは、画像ファイルをドラッグアンドドロップ で転送する方法を説明します。

> 画像ファイルをパソコンに取り込む方法については、お使いのデジタルカメラまたは画像アプリケーションに付属の取扱説明書を参照してください。

1 付属のUSBケーブルで本機をパソコンに接続する

本機の表示窓に右の画面が表示されます。
パソコンの画面に「Portable Device」画面が表示されます。

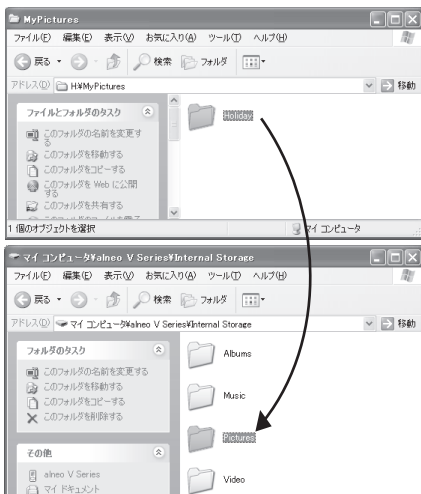
- 矢印が回転しているときは、USBケーブルを抜かないでください。

2「デバイスを開いてファイルを表示する」を選び、「OK」をクリックする

「alneo V Series」フォルダが表示されます。

3「Internal Storage」フォルダをダブルクリックする

「Internal Storage」フォルダが表示されます。

4 画像ファイル(jpeg、jpg)を含むフォルダを「Pictures」フォルダ内にドラッグアンドドロップする

5 転送の終了を確認してから、USBケーブルを抜く

本機の表示窓に「DB更新中」と表示されます。

画像ファイルを転送する（つづき）

- お買い上げ時の状態では、本機に画像ファイルが保存されていないため、ピクチャーメニューのファイルリストは表示できません。また、画像ファイルが含まれていないサブフォルダもリストに表示されません。
- 「Pictures」フォルダには画像ファイル以外のファイルは入れないでください。画像ファイル以外のファイルを入れても、ピクチャーメニューのリストには表示されません。
- 画像ファイルは必ず「Pictures」フォルダの中に入れてください。「Pictures」フォルダ以外に入れても、ピクチャーメニューから画像を表示することはできません。
- 本機で表示できるフォルダの階層は最大7（「Pictures」フォルダを含む）までです。パソコンから転送する際に、6フォルダ以上転送することはできますが、その後、パソコンで見ることも削除することもできません。ご注意ください。
- 接続または転送のときに、画像ファイルなどのデータの消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

2-5. ビデオファイルを転送する

ビデオファイルをデジタルビデオカメラなどからパソコンに取り込み、本機に転送して保存・再生できます。ビデオファイルを本機に転送するときは、USBモードが「オート」になっていることを確認してください(詳しくは、付属CD-ROMに収録されている詳細操作ガイド(⇒149ページ)を参照してください)。

> ビデオファイルをパソコンに取り込む方法については、お使いのビデオカメラまたはアプリケーションに付属の取扱説明書を参照してください。

1 付属のUSBケーブルで本機をパソコンに接続する

MTP接続中
解除しないで下さい

本機の表示窓に右の画面が表示されます。
パソコンの画面に「Portable Device」画面が表示されます。

- 矢印が回転しているときは、USBケーブルを抜かないでください。

2 「デジタルメディアファイルをこのデバイスに同期させます」を選び、「OK」をクリックする

「デバイスの設定」画面が表示されます。

ビデオファイルを転送する(つづき)

3 内容を確認して「キャンセル」または「完了」をクリックする

「キャンセル」をクリックすると手動でファイルを転送できます。手順4へ進んでください。
「完了」をクリックするとファイルの転送が始まります。本機とパソコンを接続するたびに自動的にファイルを転送します。
Windows Media Player 11の「同期」画面が表示されます。

4 転送したいビデオファイルを右クリックし、表示されるメニューから「'同期リスト' に追加」を選ぶ

カテゴリの選択ボタン

カテゴリが「ビデオ」になっていないときは、「カテゴリ選択」ボタンをクリックして、「ビデオ」を選んでください。

⇒ 次のページへ

ビデオファイルを転送する(つづき)

5「同期の開始」をクリックする

選択したビデオファイルが本機に転送されます。転送中は本機の表示窓の矢印が回転します。

• 同期を途中でやめたいときは、「同期の中止」をクリックします。

6 転送の終了を確認してから、USBケーブルを抜く

本機の表示窓に「DB更新中」と表示されます。

Windows Media Player 11で再生できないファイルは転送できません。
ご使用のパソコンのWindows Media Player 11で再生可能なファイル形式に変換してから同期転送してください。対応可能なファイル(.WMVもしくは.AVI、.MPGなど)は、ビデオコーデックのインストール環境により異なります。詳しくは、お手持ちのパソコンやアプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご参照ください。
一部、Windows Media Player 11で同期転送しても再生できないファイルがあります。

第３章　基本操作

3-1. メニューの使いかた

トップメニューについて

1 本機の電源を入れて、トップメニュー画面を表示する

- トップメニュー画面が表示されないときは、⬅ を押しつづけます。

メニュー項目

2 ＜/＞で操作するメニュー項目を選び、□を押す

アイコン	メニュー項目	説明
	ミュージック	音楽ファイルを表示/再生します。⇒50ページ
	フォルダ	音楽フォルダ、ファイルを表示/再生します。⇒54ページ
	ホットセレクション	本機が自動作成したホットセレクションを表示/再生します。⇒56ページ
	サウンド工房	音質をお好みに合わせて調整します。⇒75ページ
	スタジオセッティング	高音質モードに切り替えます。⇒74ページ
	セッティング	音質、再生モード、日時などを設定します。⇒68ページ
	ピクチャー	本機に転送した画像ファイルを表示/再生します。⇒58ページ
	ビデオ	本機に転送したビデオファイルを表示/再生します。⇒62ページ

サブメニューについて

トップメニューからそれぞれのメニュー階層に入るとサブメニューを表示することができます。

- サブメニューがない階層もあります。
- サブメニューを表示させる場所によって表示される項目は異なります。

1 **再生画面などの表示中に、MENUを押す**

サブメニューが表示されます。

2 **∧/∨で設定する項目を選ぶ**

3 **□を押して決定する**

サブメニュー

サブメニューについては、「サブメニュー一覧」(⇒ 98ページ)をご覧ください。

3-2. 日付と時刻を設定する

1 **トップメニュー画面から、＜/＞で「セッティング」メニューを選び、□を押す**

「セッティング」画面が表示されます。

2 **∧/∨で「時計設定」を選び、□を押す**

「時計設定」画面が表示されます。

3 **∧/∨で「日付と時刻」を選び、□を押す**

「日付と時刻」画面が表示されます。

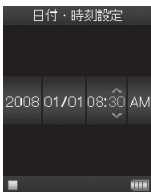
4 **∧/∨で「日付・時刻設定」を選び、□を押す**

「日付・時刻設定」画面が表示されます。

5 **＜/＞で設定したい年/月/日/時/分を選び、∧/∨で数字を切り替え、□を押して確定する**

「分」を設定し、□を押すと変更が保存され、00秒からスタートします。

設定した時刻は音楽の再生画面で確認できます。

■手順5の画面

- 「セッティング」メニューー「時計設定」ー「日付と時刻」ー「日付表示」で日付表示を変えることができます。
- 12h/24hなどの表示の切り替えや、アラーム機能、スリープタイマーなどの機能もお使いいただけます。

基本操作

第4章　再生する

4-1. 音楽を再生する

アーティスト名やアルバム名などから聴きたい曲を選んで再生できます。

音楽を再生する

1 トップメニュー画面から、＜/＞で「ミュージック」メニューを選び、□を押す

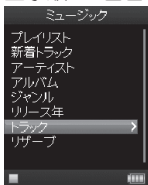
メニュー項目が表示されます。

■手順1の画面

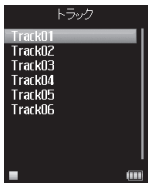
2 ∧/∨で聴きたいリストを選び、□を押す

例: トラック

■手順2の画面

ミュージック
プレイリスト
新着トラック
アーティスト
アルバム
ジャンル
リリース年
トラック
リザーブ

3 ∧/∨で再生したい曲を選び、□を押す

再生画面が表示され、再生が始まります。

■手順3の画面

トラックリスト画面では、再生中のトラックにアイコンが表示されます。

■ ミュージックメニューから選べるリスト

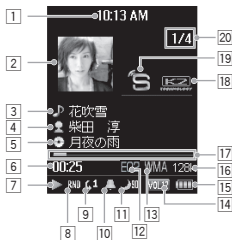
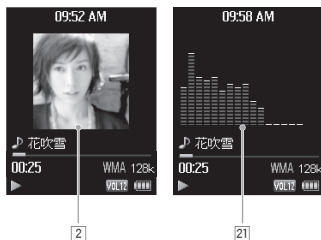
リスト名	説明
プレイリスト	プレイリストとお気に入りのリストを表示します。
新着トラック	新着トラックリストを表示します。 「最新」は、前回転送した曲を転送順に表示します。 「本日」は、今日転送した曲を転送順に表示します。 「2日間」は、昨日と今日転送した曲を転送順に表示します。 「1週間」は、1週間以内に転送した曲を転送順に表示します。
アーティスト	アーティスト名のリストを表示します。
アルバム	アルバム名のリストを表示します。 アルバム表示形式を変更できます(⇒72ページ)。
ジャンル	ジャンル名のリストを表示します。
リリース年	リリース年のリストを表示します。
トラック	本機に転送されたすべてのトラックを表示します。
リザーブ	予約したトラックを表示します。

■ 再生画面の基本操作

操作	本機ボタン操作
曲を再生する	▷□ を押す
再生を一時停止する	再生中に ▷□ をもう1回押す
音量を上げる/下げる(調節範囲:0~30、ヘッドホン出力を「高」に設定したとき:0~40)	上げる:∧を押す 下げる:∨を押す
今聴いている曲を頭出しする	<を1回押す
前の曲にスキップする	<を2回押す
次の曲にスキップする	>を1回押す
早戻しする	<を押したままにする
早送りする	>を押したままにする
経過時間表示/残り時間表示を切り替える	□を押す
お気に入りに登録する	□を長押しする

再生画面について

再生画面の各部の名前

■ノーマル画面

■ジャケット画像画面/スペアナ画面

1 時刻表示
2 ジャケット画像
3 曲名
4 アーティスト名
5 アルバム名
6 経過時間表示/残り時間表示※
7 再生状態表示
8 再生モード
9 リピートモード
10 アラームアイコン
11 スリープアイコン
12 音質効果アイコン（サウンドエフェクト/マニュアルEQ）
13 音声圧縮フォーマット
14 ボリューム表示
15 バッテリー表示
16 ビットレート
17 再生位置
18 K2テクノロジーアイコン
19 音質向上アイコン（サウンド工房/スタジオセッティング）
20 曲番号/総曲数
21 スペアナ表示

※ □を押すたびに切り替えて表示

再生画面の切り替えについて

再生画面の表示形式は、「通常」、「ジャケット大」、「スペアナ１」、「スペアナ２」から選べます。

再生画面の表示形式を切り替える方法は、次のとおりです。

- サブメニューから「再生画面形式」を選んで ■ を押す
- 「セッティングメニュー」−「ミュージック設定」−「再生画面形式」(⇒73ページ)を選んで ■ を押す

音楽ファイルに画像ファイルが関連付けられているときは、ジャケット画像画面でその画像を表示します。関連付けがされていないときは、初期画像を表示します。

> 他の画面からは、サブメニューから「再生画面」を選んで ■ を押すと再生画面を表示できます(画面によっては戻らない場合もあります)。

4-2. 再生方法を変える

フォルダを再生する

本機に保存されている音楽ファイルをリストで表示したり、再生したりできます。フォルダを選んで再生することができます。

1 トップメニュー画面から、</>で「フォルダ」メニューを選び、□を押す

「フォルダ」画面が表示されます。

■手順1の画面

2 ∧/∨で再生したいフォルダを選ぶ

音楽ファイルまたはフォルダがリスト表示されます。

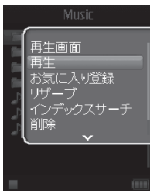
さらに階層があるときは、∧/∨でフォルダを選び、□を押します。再生したいフォルダを選ぶまでこの手順をくり返します。

3 MENUを押す

サブメニューが表示されます。

4 ∧/∨で「再生」を選び、□を押す

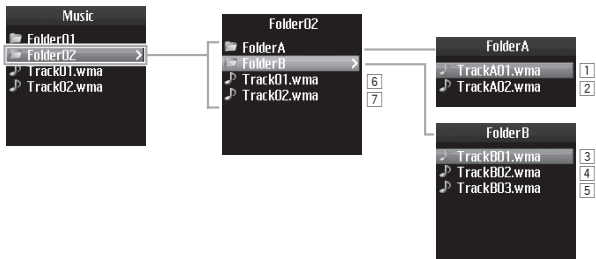
再生画面が表示され、フォルダ内のトラックが順に再生されます。

■手順4の画面

■ 前の画面に戻るには

⇦ を押す

■ サブフォルダを含むときの再生順序について

選択したフォルダにサブフォルダが含まれている場合は、以下の1～7の順序で再生します。

例: Folder02を選んで□を押し、前ページの手順3、4を行ったとき。

破損しているファイルは、アイコンがついて表示されます。

再生方法を変える(つづき)

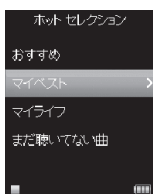
ホットセレクションを再生する

再生された曲の回数や、再生された時間などから、本機がお好みに合ったホットセレクションを自動作成します。

1 トップメニュー画面を表示して＜/＞で「ホットセレクション」を選び、□を押す

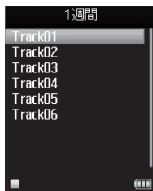
「ホットセレクション」画面が表示されます。

2 ∧/∨で聴きたいホットセレクションを選び、□を押す

「おすすめ」、「マイベスト」、「マイライフ」、「まだ聴いてない曲」の中から選びます。
「おすすめ」と「まだ聴いてない曲」を選んだときは、手順4に進みます。

3 ∧/∨で聴きたいリストを選び、□を押す

リストが表示されます。

4 ∧/∨で聴きたいトラックを選び、□を押す

再生画面が表示され、再生が始まります。

ホットセレクションには次の項目があります。

ホットセレクション名	リスト名	説明
おすすめ	ー	本機がアーティスト、ジャンル、リリース年ごとに再生された回数を分析して、おすすめリストを自動作成します。
マイベスト	1週間	1週間以内に聴いた曲のリストです。
	1ヶ月	1ヶ月間以内に聴いた曲のリストです。
	1年間	1年間以内に聴いた曲のリストです。
マイライフ	朝によく聴く曲	朝(午前5時〜11時)によく聴く曲のリストです。
	昼によく聴く曲	昼(午前11時〜午後3時)によく聴く曲のリストです。
	夕方によく聴く曲	夕方(午後3時〜午後6時)によく聴く曲のリストです。
	夜によく聴く曲	夜(午後6時〜午前5時)によく聴く曲のリストです。
まだ聴いてない曲	ー	まだ1度も聴いていない曲すべてのリストです。

4-3. 画像を見る

本機に転送した画像を表示したり、スライドショーの再生ができます。同時に音楽の再生もできます。

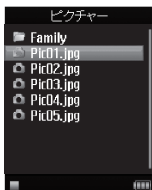
画像を見る(スチルモード)

本機で画像ファイルを表示します。

1 **トップメニュー画面を表示して＜/＞で「ピクチャー」メニューを選び、■を押す**

「ピクチャー」画面が表示され、画像ファイルまたはフォルダがリスト表示されます。

2 **∧/∨で表示したい画像ファイルまたはフォルダを選び、■を押す**

フォルダの場合は表示したいファイルを選ぶまでこの手順を繰り返します。

3 **■を押す**

■アイコンが表示され、画像ファイルが表示されます。

ファイル表示形式や表示方向を変更するには81～83ページを参照してください。

■ 基本操作

操作	本機ボタン操作
次のファイルを表示する	>を押す
前のファイルを表示する	<を押す
スライドショーを開始する	□を押す
画像ファイルの表示をやめる	⇦を押す

- 何らかの原因により破損している画像ファイルは、アイコンが付いて表示されます。
- 画像ファイルまたはフォルダは、おおむねアルファベット順に表示されます。
- サポートしていないJPEGファイルがあった場合は、画面に「表示出来ません」というメッセージが表示され、その後画面がオフになります。その場合は、表示可能なファイルが選択されるまで</>を押してください。

画像を見る（つづき）

スライドショーを見る（スライドショーモード）

本機でスライドショーを表示します。

1 トップメニュー画面を表示して＜/＞で「ピクチャー」メニューを選び、□を押す

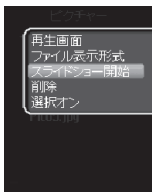
「ピクチャー」画面が表示され、画像ファイルまたはフォルダがリスト表示されます。

2 ∧/∨で表示したい画像ファイルまたはフォルダを選ぶ

さらに階層があるときは、∧/∨でフォルダを選び、□を押します。

表示したい画像ファイルまたはフォルダを選ぶまでこの手順を繰り返します。

3 MENUを押す

サブメニューが表示されます。

4 ∧/∨で「スライドショー開始」を選び、□を押す

▷アイコンが表示され、スライドショーが開始されます。

再生する

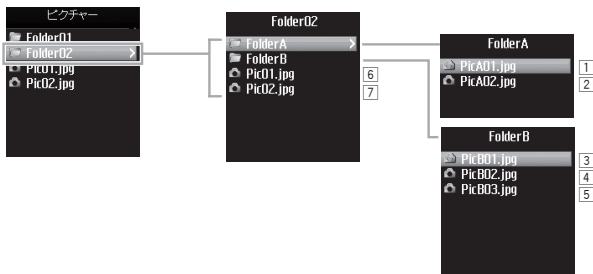
■ 基本操作

操作	本機ボタン操作
次のファイルを表示する	＞を押す
前のファイルを表示する	＜を押す
スチルモードに変える	□を押す
スライドショーをやめる	⇦ を押す(前の画面に戻ります。)

- 何らかの原因により破損している画像ファイルは、アイコンが付いて表示されます。
- 画像ファイルまたはフォルダは、おおむねアルファベット順に表示されます。
- スライドショー再生中は「表示時間」(⇒87ページ)や「スクリーンセーバー」(⇒88ページ)の設定にかかわらず、画面表示が消灯したり、スクリーンセーバーに切り替わることはありません。

■ サブフォルダを含むときのスライドショーの再生順序について

選択したフォルダにサブフォルダが含まれている場合、以下の1～7の順序でスライドショーを再生します。

例：Folder02フォルダを選んでMENUを押し、上記の手順4を行ったとき

4-4. ビデオを見る

本機に転送したビデオファイルを再生します。

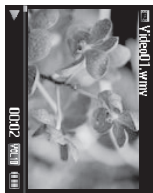
1 トップメニュー画面を表示して＜/＞で「ビデオ」メニューを選び、□を押す

「ビデオ」画面が表示され、ビデオファイルまたはフォルダがリスト表示されます。

2 ∧/∨で表示したいビデオファイルまたはフォルダを選び、□を押す

フォルダの場合は表示したいファイルを選ぶまでこの手順を繰り返します。

3 □を押す

選んだビデオファイルが再生されます。

再生方法、ファイルの表示形式や表示方向を変更するには84～86ページを参照してください。

■ 基本操作

操作	本機ボタン操作
ビデオを再生する	▷□ を押す
再生を一時停止する	再生中に ▷□ をもう1回押す
音量を上げる/下げる(調節範囲:0〜30、ヘッドホン出力を「高」に設定したとき:0〜40)	上げる:∧を押す 下げる:∨を押す
今再生しているビデオを頭出しする	<を1回押す
前のビデオにスキップする	<を2回押す
次のビデオにスキップ	>を押す
早戻しする	<を押したままにする
早送りする	>を押したままにする
表示内容(経過時間/残り時間/ファイル順)を切り替える	再生中に □ を押す
ビデオの再生をやめる	⮢ を押す

- 何らかの原因により破損しているビデオファイルは、アイコンが付いて表示されます。
- ビデオファイルまたはフォルダは、おおむねアルファベット順に表示されます。
- サポートしていないWMVファイルがあった場合は、画面に「表示出来ません」というメッセージが表示され、その後画面がオフになります。その場合は、表示可能なファイルが選択されるまで</>を押してください。
- ビデオ再生中は「表示時間」(⇒87ページ)や「スクリーンセーバー」(⇒88ページ)の設定にかかわらず、画面表示が消灯したり、スクリーンセーバーに切り替わることはありません。

4-5. ファイル・フォルダを削除する

本機で音楽ファイルや画像ファイル、ビデオファイルを削除します。
ここでは、音楽ファイルの削除を例に説明します。

1 トップメニュー画面から、＜/＞で「フォルダ」メニューを選び、□を押す

画像ファイルを削除する場合は、「ピクチャー」メニューを、ビデオファイルを削除する場合は、「ビデオ」メニューを選び、□を押します。

■手順1の画面

2 ∧/∨で削除したいファイルまたはフォルダを選ぶ

さらに階層があるときは、∧/∨でフォルダを選び、□を押します。削除したいファイルまたはフォルダがリスト表示されるまでこの手順をくり返します。

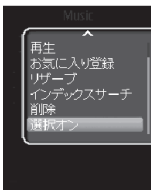
■手順2の画面

3 MENUを押す

サブメニューが表示されます。

4 ∧/∨で「選択オン」を選び、□を押す

リスト表示されたファイルまたはフォルダの先頭にチェックボックス□が表示されます。
チェックボックスの表示を消すには、サブメニューから「選択オフ」を選び、□を押してください。

■手順4の画面

5 ∧/∨で削除するファイルまたはフォルダにカーソルを合わせて、□を押す

選んだファイルまたはフォルダにチェックマーク☑が付きます。チェックを外すには、再度□を押します。
すべてのファイルまたはフォルダを選択するには、サブメニューから「全て選択」を選び、□を押します。
「全て選択」のチェックを外すには、サブメニューから「選択反転」を選び、□を押してください。

■手順5の画面

6 MENUを押す

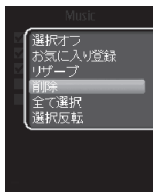
サブメニューが表示されます。

7 ∧/∨で「削除」を選び、□を押す

確認メッセージが表示されます。

■手順7の画面

8 </>で「はい」を選び、□を押す

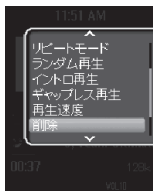
選択したファイルまたはフォルダが削除されます。

- ファイルやフォルダをひとつずつ削除するには、手順4で「削除」を選び、□を押します。
- パソコンと接続してファイルを削除する方法については、付属CD-ROMに収録されている詳細操作ガイド(⇒102ページ)を参照してください。
- ジャケット画像を含むフォルダを削除すると、曲(ファイル)は削除されますが、ジャケット画像と曲(ファイル)やフォルダは削除されない場合があります。ジャケット画像とフォルダを削除するには、本機をパソコンに接続して削除します。詳しくは、付属CD-ROMに収録されている詳細操作ガイド(⇒105ページ)を参照してください。

ファイル・フォルダを削除する（つづき）

■ 再生中のファイルを削除する

1 **再生画面でMENUを押す**
サブメニューが表示されます。

2 **∧/∨で「削除」を選び、□を押す**
確認メッセージが表示されます。

3 **＜/＞で「はい」を選び、□を押す**
再生中のファイルが削除されます。

第５章　設定を変える

5-1. 音楽の設定をする

音楽ファイルの再生方法や音質を設定します。

再生方法(再生モード)を変える

音楽ファイルの再生方法を選べます。

1 トップメニュー画面から</>で「セッティング」メニューを選び、□を押す

「セッティング」画面が表示されます。

2 ∧/∨で「ミュージック設定」を選び、□を押す

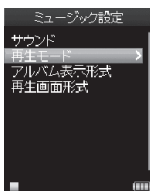
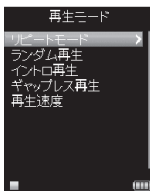
「ミュージック設定」画面が表示されます。

3 ∧/∨で「再生モード」を選び、□を押す

「再生モード」画面が表示されます。

4 ∧/∨で再生方法(再生モード)を選び、□を押す

5 ∧/∨で設定項目を選び、□を押して確定する

■手順3の画面

■手順4の画面

再生モードは、音楽再生画面からも設定できます。
音楽再生画面でMENUを押し、サブメニューから「リピートモード」、「ランダム再生」、「イントロ再生」、「ギャップレス再生」または「再生速度」を選び□を押します。

■ 再生モード一覧

再生モード	設定項目	アイコン	説明
リピートモード	●オフ	−	リピートモードの設定をオフにします。
	1曲		現在再生中の曲(1曲)をくり返し再生します。
	すべて		現在選択中のアーティスト/アルバム/ジャンルなどに含まれるすべての曲をくり返し再生します。
	A-B		選んだ再生範囲の曲をくり返し再生します。A点、B点の決定は再生中に を押します。
ランダム再生	オン	RND	現在選択中のアーティスト/アルバム/ジャンルなどに含まれるすべての曲を順不同に再生します。
	●オフ	−	ランダム再生の設定をオフにします。
イントロ再生	オン		各曲の出だし部分を10秒間だけ再生します。
	●オフ	−	イントロ再生の設定をオフにします。
ギャップレス再生	●オン	−	曲間の無音部分をなくして再生します。
	オフ	−	ギャップレス再生の設定をオフにします。
再生速度	速く		通常の約1.25倍の速度で再生します。
	●標準	−	通常の速度で再生します。
	遅く		通常の約0.8倍の速度で再生します。

●：お買い上げ時の設定

- 「ABリピート」再生中に</>で曲をスキップしたり、パソコンにUSB接続すると区間が解除されます。
- 「ABリピート」の開始点Aと終了点Bは、2秒以上空けてください。
- 2曲間で「ABリピート」を設定することはできません。
- 早送り/早戻し再生中、1曲/A-Bリピート再生中、イントロ再生中は、ギャップレス再生できません。WMA-DRM 10ファイルの曲もギャップレス再生できません。MP3、WMAファイルの場合でも、曲によってはギャップレス再生できない場合があります。
- 再生速度を切り替えると音程が変わります。 曲によっては再生速度を設定しても、再生速度が変わらない場合があります。

音楽の設定をする(つづき)

音質を調整する

デジタル圧縮による劣化を補正したり、お好みの音質を設定できます。

1 **トップメニュー画面から＜/＞で「セッティング」メニューを選び、□を押す**

「セッティング」画面が表示されます。

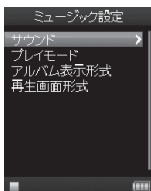
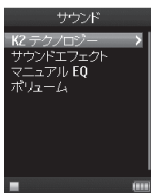
2 **∧/∨で「ミュージック設定」を選び、□を押す**

「ミュージック設定」画面が表示されます。

3 **∧/∨で「サウンド」を選び、□を押す**

「サウンド」画面が表示されます。

4 **∧/∨で設定項目を選び、□を押して確定する**

■手順3の画面

■手順4の画面

「サウンド」は、再生画面からも設定できます。
再生画面でMENUを押し、サブメニューから「サウンド」を選び□を押します。

■ サウンド一覧

サウンド	設定項目	アイコン	説明
K2テクノロジー※1	オン	[K2]	デジタル圧縮による劣化を補正し、元の音質に近い音質を再現します。
	●オフ	－	K2 テクノロジーの設定をオフにします。
サウンドエフェクト※1	●オフ	－	サウンドエフェクトの設定をオフにします。
	D-AHB1	D-AHB1	クリアで迫力のある重低音を楽しめます。D-AHB1が標準で、D-AHB2ではさらに効果が強くなります。（D-AHB:デジタルアクティブハイパーバス）
	D-AHB2	D-AHB2	
マニュアルEQ※1	●オフ	－	マニュアルEQの設定をオフにします。
	EQ1	EQ1	5バンドマニュアルイコライザーで、好みに合わせて音質を細かく設定できます。設定は5つまで記憶できます。</>で設定するバンドを選び、∧/∨で各バンドのレベルを調整します。
	EQ2	EQ2	
	EQ3	EQ3	
	EQ4	EQ4	
	EQ5	EQ5	
ボリューム※2	●標準	－	ボリュームレベルを 0～30 で設定できます。
	高	－	ボリュームレベルを 0～40 で設定できます。

●：お買い上げ時の設定

※1 スタジオセッティングがオンのときは、設定を変更できません。

※2 付属のヘッドホン以外のものをご使用になる場合に音量を上げて使用したいときに設定してください。
「高」に設定すると「サウンドエフェクト」、「マニュアルEQ」は「オフ」に設定されます。
「高」に設定しているときに「サウンドエフェクト」、「マニュアルEQ」を設定すると、ボリュームが自動的に「標準」に設定されます。

サウンドエフェクトとマニュアルEQは同時に設定できません。

音楽の設定をする(つづき)

アルバム表示形式を設定する

アルバムリスト画面での表示形式を設定できます。

1 トップメニュー画面から＜/＞で「セッティング」メニューを選び、▭を押す

「セッティング」画面が表示されます。

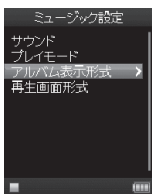
2 ∧/∨で「ミュージック設定」を選び、▭を押す

「ミュージック設定」画面が表示されます。

3 ∧/∨で「アルバム表示形式」を選び、▭を押す

「アルバム表示形式」画面が表示されます。

4 ∧/∨でアルバム表示形式を選び、▭を押す

■手順3の画面

設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	説明
●アルバム名のみ	アルバム名のみ表示します。
ジャケットあり	ジャケット画像とアルバム名を表示します。
ジャケットのみ	ジャケット画像のみ表示します。

●：お買い上げ時の設定

アルバムリスト画面からも設定できます。
アルバムリスト画面でMENUを押し、サブメニューから「アルバム表示形式」を選び、▭を押します。

再生画面形式を設定する

音楽再生画面の表示形式を設定できます。

1 トップメニュー画面から＜/＞で「セッティング」メニューを選び、■を押す

「セッティング」画面が表示されます。

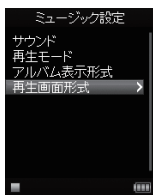
2 ∧/∨で「ミュージック設定」を選び、■を押す

「ミュージック設定」画面が表示されます。

3 ∧/∨で「再生画面形式」を選び、■を押す

「再生画面形式」画面が表示されます。

4 ∧/∨で再生画面形式を選び、■を押す

■手順3の画面

設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	説明
●通常	トラック名やアーティスト名、ジャケット画像などを表示します。
ジャケット大	ジャケット画像が中央に大きく表示されます。
スペアナ1	スペクトラムアナライザーが中央に表示されます。
スペアナ2	

●：お買い上げ時の設定

再生画面からも設定できます。再生画面でMENUを押し、サブメニューから「再生画面形式」を選び、■を押します。

5-2. 再生音質を高める(スタジオセッティング)

スタジオセッティングメニューでは、高音質モードへの切り替えができます。
オーバーサンプリングK2処理(最大96kHz/24bit)により、マスター音源に迫る高音質再生を実現します。

1 トップメニュー画面から＜/＞で「スタジオセッティング」メニューを選び、□を押す

「スタジオセッティング」画面が表示されます。

2 ∧/∨で「オン」を選び、□を押す

「オフ」を選ぶと、通常の音質に戻ります。

- サウンド工房のプリセット/チューニング、またはサウンドエフェクト、マニュアルEQのいずれかが設定されているときは、確認のメッセージが表示されます。
- スタジオセッティングをオンにすると、一部再生機能が制限されます。

5-3. 最適な音質に設定する(サウンド工房)

サウンド工房メニューでは、ヘッドホンの種類や環境にあった音質に設定したり、ユーザーの特性にあった最適な音質にチューニングすることができます。

プリセットを設定する

ヘッドホンの種類や使用環境を設定します。

1 **トップメニュー画面から＜/＞で「サウンド工房」メニューを選び、■を押す**

「サウンド工房」画面が表示されます。

2 **∧/∨で「プリセット」を選び、■を押す**

3 **∧/∨で「プリセット1」または「プリセット2」を選び、■を押す**

設定画面が表示されます。
「オフ」を選ぶと、通常の音質に戻ります。

4 **＜/＞で使用環境を選び、■を押す**

使用環境は「オフ」「サブウェイ」「ストリート」「パーク」「ルーム」から選べます。
使用環境の目安は以下のとおりです。
サブウェイ:騒がしい
ストリート:やや騒がしい
パーク:静かな屋外
ルーム:静かな室内

5 **＜/＞でヘッドホンの種類を選び、■を押す**

ヘッドホンの種類は「オフ」「インナー」「カナル」「オープンエア」「密閉」から選べます。
設定した内容が反映されます。

■手順1の画面

■手順4の画面

■手順5の画面

スタジオセッティング、サウンド工房のチューニングのいずれかが設定されているときは、確認のメッセージが表示されます。

最適な音質に設定する(サウンド工房)(つづき)

簡単チューニング

最も小さく聞こえる音量を周波数ごとに測定し、バランスのとれた最適な音質にチューニングします。

1 トップメニュー画面から＜/＞で「サウンド工房」メニューを選び、□を押す

「サウンド工房」画面が表示されます。

■手順2の画面

2 ∧/∨で「チューニング」を選び、□を押す

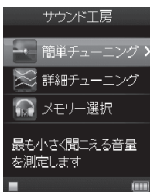
3 ∧/∨で「簡単チューニング」を選び、□を押す

■手順3の画面

4 メッセージを確認し、□を押して次へ進む

測定が始まります。
テスト音が鳴り、徐々に音量が大きくなります。

5 音が聞こえたら、∧/∨で「決定」を選び、□を押す

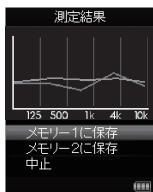
同様の測定をNo.5まで繰り返します。
測定をやめるには、∧/∨で「中止」を選んで□を押します。

■手順5の画面

6 測定終了のメッセージが表示されたら、□を押す

測定結果が表示されます。

7 ∧/∨で「メモリー1に保存」または「メモリー2に保存」を選び、□を押す

設定した内容が反映されます。
結果を保存しないで測定をやめるには、∧/∨で「中止」を選んで□を押します。

■手順7の画面

スタジオセッティング、サウンド工房のプリセットのいずれかが設定されているときは、確認のメッセージが表示されます。

最適な音質に設定する(サウンド工房)(つづき)

詳細チューニング

簡単チューニングよりさらにバランスのとれた最適な音質にチューニングします。

1 **トップメニュー画面から＜/＞で「サウンド工房」メニューを選び、□を押す**

「サウンド工房」画面が表示されます。

2 **∧/∨で「チューニング」を選び、□を押す**

3 **∧/∨で「詳細チューニング」を選び、□を押す**

4 **メッセージを確認し、□を押して次へ進む**

測定が始まります。

5 **＜/＞を使って、左右同じ音量に聞こえる位置へ調節し、□を押す**

同様に「3」まで繰り返します。
測定をやめるには、↩ を押します。

6 **∧/∨で「次へ」を選び、□を押す**

周波数特性の測定に移ります。

■手順2の画面

■手順3の画面

■手順5の画面

7　メッセージを確認し、□を押して次へ進む

測定が始まります。

8　∧/∨を使って、聞こえる最小音量の位置で□を押す

同様に「5」まで繰り返します。
測定をやめるには、⇦を押します。

■手順8の画面

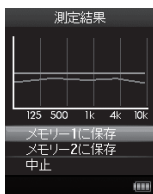
9　□を押して次へ進む

10　測定終了のメッセージが表示されたら□を押す

測定結果が表示されます。

11　∧/∨で「メモリー1に保存」または「メモリー2に保存」を選び、□を押す

設定した内容が反映されます。
結果を保存しないで測定をやめるには、∧/∨で「中止」を選んで□を押します。

■手順11の画面

スタジオセッティング、サウンド工房のプリセットのいずれかが設定されているときは、確認のメッセージが表示されます。

最適な音質に設定する(サウンド工房)(つづき)

メモリー選択

簡単チューニングや詳細チューニングで測定したメモリーに切り替えます。

1 トップメニュー画面から＜/＞で「サウンド工房」メニューを選び、□を押す

「サウンド工房」画面が表示されます。

2 ∧/∨で「チューニング」を選び、□を押す

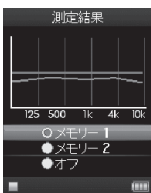
3 ∧/∨で「メモリー選択」を選び、□を押す

4 ∧/∨で「メモリー1」または「メモリー2」を選び、□を押す

選択したメモリーが反映されます。
メモリーの選択をやめるには、「オフ」を選択します。

■手順2の画面

■手順3の画面

■手順4の画面

スタジオセッティング、サウンド工房のプリセットのいずれかが設定されているときは、確認のメッセージが表示されます。

5-4. 画像の設定をする

画像リスト画面での表示のしかたや、画像の表示方向を設定します。

ファイルの表示形式を変える

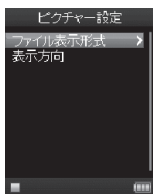
画像リスト画面での表示形式を変更します。

1 トップメニュー画面から</>で「セッティング」メニューを選び、□を押す

「セッティング」画面が表示されます。

2 ∧/∨で「ピクチャー設定」を選び、□を押す

「ピクチャー設定」画面が表示されます。

3 ∧/∨で「ファイル表示形式」を選び、□を押す

「ファイル表示形式」画面が表示されます。

4 ∧/∨で表示形式を選び、□を押す

■手順3の画面

設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	説明
●ファイル名のみ	ファイル名のみ表示します。
サムネイル※あり	サムネイルとファイル名を表示します。
サムネイルのみ	サムネイルのみ表示します。

※ サムネイル：縮小表示した画像

●：お買い上げ時の設定

- 画像リスト画面からも設定できます。
  画像リスト画面でMENUを押し、サブメニューから「ファイル表示形式」を選び、□を押します。
- ファイル形式によっては、サムネイルが表示されないことがあります。

画像の設定をする(つづき)

画像の表示方向を変える

画像を表示する際の表示方向を変更します。

1 トップメニュー画面から＜/＞で「セッティング」メニューを選び、□を押す

「セッティング」画面が表示されます。

2 ∧/∨で「ピクチャー設定」を選び、□を押す

「ピクチャー設定」画面が表示されます。

3 ∧/∨で「表示方向」を選び、□を押す

「表示方向」画面が表示されます。

4 ∧/∨で表示方向を選び、□を押す

■手順3の画面

設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	説明
縦	画像を縦方向に表示します。
●横(右手用)	画像を横方向(右手用)に表示します。
横(左手用)	画像を横方向(左手用)に表示します。

●：お買い上げ時の設定

横(右手用)

縦

- 画像再生画面からも設定できます。
  画像再生画面でMENUを押し、サブメニューから「表示方向」を選び、□を押す。
- 表示方向を変更すると＜/＞/∧/∨も表示方向に合わせて変更されます。

5-5. ビデオの設定をする

ビデオファイルの再生方法や表示のビデオリスト画面での表示のしかたを変更します。

再生方法(再生モード)を変える

ビデオファイルの再生方法を選べます。

1 トップメニュー画面から＜/＞で「セッティング」メニューを選び、□を押す

「セッティング」画面が表示されます。

2 ∧/∨で「ビデオ設定」を選び、□を押す

「ビデオ設定」画面が表示されます。

3 ∧/∨で「再生モード」を選び、□を押す

「再生モード」画面が表示されます。

■手順3の画面

4 ∧/∨で再生方法(再生モード)を選び、□を押す

5 ∧/∨で項目を選び、□を押して確定する

設定できる項目は次のとおりです。

再生モード	設定項目	説明
リピートモード	●オフ	リピートモードの設定をオフにします。
	1ファイル	現在再生中のビデオ(1ファイル)をくり返し再生します。
	すべて	現在選択中のフォルダに含まれるすべてのビデオをくり返し再生します。
ランダム再生	●オフ	ランダム再生の設定をオフにします。
	オン	現在選択中のフォルダに含まれるすべてのビデオを順不同に再生します。

●：お買い上げ時の設定

ビデオ再生画面からも設定できます。
ビデオ再生画面でMENUを押し、サブメニューから「リピートモード」または「ランダム再生」を選び□を押します。

設定を変える

ファイルの表示形式を変える

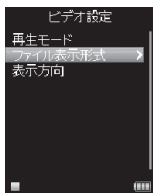
ビデオリスト画面での表示形式を設定できます。

1 **トップメニュー画面から＜/＞で「セッティング」メニューを選び、□を押す**

「セッティング」画面が表示されます。

2 **∧/∨で「ビデオ設定」を選び、□を押す**

「ビデオ設定」画面が表示されます。

3 **∧/∨で「ファイル表示形式」を選び、□を押す**

「ファイル表示形式」画面が表示されます。

4 **∧/∨で表示形式を選び、□を押す**

■手順3の画面

設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	説明
●ファイル名のみ	ファイル名のみ表示します。
サムネイル※あり	サムネイルとファイル名を表示します。
サムネイルのみ	サムネイルのみ表示します。

※ サムネイル：縮小表示した画像

●：お買い上げ時の設定

ビデオリスト画面からも設定できます。
ビデオリスト画面でMENUを押し、サブメニューから「ファイル表示形式」を選び、□を押します。

ビデオの設定をする(つづき)

ビデオの表示方向を変える

ビデオを再生する際の表示方向を変更します。

1 トップメニュー画面から＜/＞で「セッティング」メニューを選び、□を押す

「セッティング」画面が表示されます。

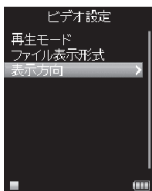
2 ∧/∨で「ビデオ設定」を選び、□を押す

「ビデオ設定」画面が表示されます。

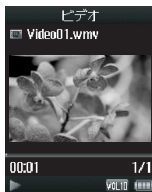
3 ∧/∨で「表示方向」を選び、□を押す

「表示方向」画面が表示されます。

4 ∧/∨で表示方向を選び、□を押す

■手順3の画面

設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	説明
縦	ビデオを縦方向に表示します。
●横(右手用)	ビデオを横方向(右手用)に表示します。
横(左手用)	ビデオを横方向(左手用)に表示します。

●：お買い上げ時の設定

横(右手用)

縦

- ビデオ再生画面からも設定できます。
  ビデオ再生画面でMENUを押し、サブメニューから「表示方向」を選び、□を押す。
- 表示方向を変更すると＜/＞/∧/∨も表示方向に合わせて変更されます。

5-6. 本機の設定をする

本機の設定を行います。
ここでは、よく使う設定項目のみ記載しています。その他の本機の設定については、付属CD-ROMに収録されている詳細操作ガイド(⇒146ページ)を参照してください。

画面の表示時間を設定する

バッテリーの消耗を防ぐため、本機を操作しないまま設定した時間が経過すると画面が暗くなります。
お買い上げ時は「30秒」に設定されています。
設定できる時間は、常時表示/15秒/30秒/60秒です。

1 トップメニュー画面から</>で「セッティング」メニューを選び、□を押す

「セッティング」画面が表示されます。

2 ∧/∨で「表示設定」を選び、□を押す

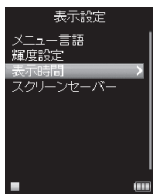
「表示設定」画面が表示されます。

3 ∧/∨で「表示時間」を選び、□を押す

「表示時間」画面が表示されます。

4 ∧/∨で表示時間を選び、□を押す

表示時間が設定されます。
「常時表示」を選ぶと画面を暗くしません。

■手順3の画面

- 表示時間が経過した後、さらに何も操作しないまま約10秒経過すると、画面表示が消灯し、スクリーンセーバー(⇒88ページ)が設定されている場合は、スクリーンセーバーに切り替わります。
- スライドショー再生中(⇒60ページ)、ビデオ再生中(⇒62ページ)は画面を暗くしません。

本機の設定をする(つづき)

スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーを設定すると本機の消費電力を抑えることができます。
「表示時間」(⇒87ページ)で設定した時間が経過すると、スクリーンセーバーに切り替わります。
お買い上げ時は「ニッパー」に設定されています。スクリーンセーバーの種類は、オフ/時計/ジャケット画像/ニッパーから選べます。

1 トップメニュー画面から＜/＞で「セッティング」メニューを選び、□を押す

「セッティング」画面が表示されます。

2 ∧/∨で「表示設定」を選び、□を押す

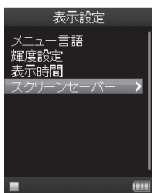
「表示設定」画面が表示されます。

3 ∧/∨で「スクリーンセーバー」を選び、□を押す

「スクリーンセーバー」画面が表示されます。

4 ∧/∨でスクリーンセーバーの種類を選び、□を押す

「オフ」を選ぶとスクリーンセーバーに切り替わりません。

■手順3の画面

- スライドショー再生中(⇒60ページ)、ビデオ再生中(⇒62ページ)、USB接続中はスクリーンセーバーに切り替わりません。
- 「ジャケット画像」を選ぶと、以下の画像を表示します。
  音楽再生時：再生中の曲のジャケット画像
  画像再生時：再生中の画像
  ビデオ停止時：停止中のビデオの静止画像
  上記以外：最後に再生した音楽ファイルのジャケット画像

設定を変える

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、電源が自動的に切れるように設定します。お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。
設定できる時間は、オフ/15分/30分/60分/90分/120分です。スリープタイマーを設定すると画面にスリープアイコンが表示されます。

1 トップメニュー画面から＜/＞で「セッティング」メニューを選び、□を押す

「セッティング」画面が表示されます。

2 ∧/∨で「時計設定」を選び、□を押す

「時計設定」画面が表示されます。

3 ∧/∨で「スリープ」を選び、□を押す

「スリープ」画面が表示されます。

■手順3の画面

4 ∧/∨で設定する時間を選び、□を押す

タイマーが設定され、設定した時間を示すアイコンが表示されます。設定後、残り時間を分単位でカウントダウンします。
「オフ」を選ぶとスリープタイマーの設定を解除します。

- 自動電源オフ(⇒90ページ)を設定しているときは、再生が停止した状態で操作せずに放置しておくと、スリープタイマーで設定した時間より先に電源が切れます。
- 本機をパソコンに接続すると、スリープは解除されます。

自動電源オフを設定する

再生が停止した状態で本機を操作せずに放置しておくと、電源が自動的に切れるように設定します。
お買い上げ時は「1分」に設定されています。設定できる時間は、オフ/1分/2分/5分/10分です。

1 トップメニュー画面から＜/＞で「セッティング」メニューを選び、□を押す

「セッティング」画面が表示されます。

2 ∧/∨で「システム」を選び、□を押す

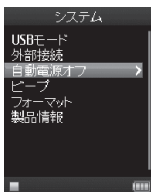
「システム」画面が表示されます。

3 ∧/∨で「自動電源オフ」を選び、□を押す

「自動電源オフ」画面が表示されます。

4 ∧/∨で設定する時間を選び、□を押す

自動電源オフが設定されます。
「オフ」を選ぶと自動電源オフの設定を解除します。

■手順3の画面

「外部接続」(⇒91ページ)が「カー」に設定されているときは変更できません。手順3の操作を行うと確認メッセージが表示されます。

外部接続を設定する

外部機器に接続する際に設定します。
お買い上げ時は「通常」が設定されています。通常/カーから選べます。

1 トップメニュー画面から＜/＞で「セッティング」メニューを選び、□を押す

「セッティング」画面が表示されます。

2 ∧/∨で「システム」を選び、□を押す

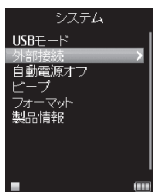
「システム」画面が表示されます。

3 ∧/∨で「外部接続」を選び、□を押す

「外部接続」画面が表示されます。

■手順3の画面

4 ∧/∨で外部接続先を選び、□を押す

外部接続先は通常/カーから選べます。

「カー」を選ぶと確認メッセージが表示され、自動電源オフが1分に設定されます。

設定を変える

■ 車のオーディオシステムで本機の音楽を楽しむには

別売品のFM トランスミッター(CA-RT50:近日発売予定)を使うと本機の音楽を車のオーディオシステムでお楽しみいただけます。
本機との接続方法や使いかたについては、CA-RT50の取扱説明書をお読みください。

外部接続で「カー」を選んで車のエンジンをかけると、本機へのUSB給電が始まります。
その後、自動的に電源がオンになり、音楽の再生が始まります。
エンジンが停止するなどして本機へのUSB給電が停止すると音楽の再生が自動的に停止します。その後、1分後に電源が切れます。

設定を初期化する(リセット)

設定項目の内容をお買い上げ時の設定に戻します。
保存しているデータは削除されません。(時計、日付設定はリセットされません。)

1 **トップメニュー画面から</>で「セッティング」メニューを選び、□を押す**

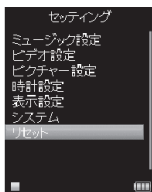
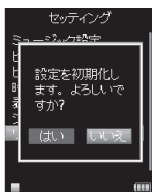
「セッティング」画面が表示されます。

2 **∧/∨ で「リセット」を選び、□を押す**

確認のメッセージが表示されます。

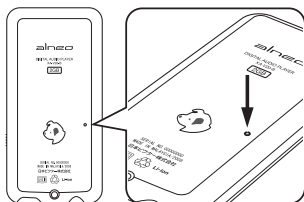
3 **</>で「はい」を選び、□を押す**

リセットが実行されます。

■手順2の画面

■手順3の画面

■ 操作を途中でやめるには

上記の手順3で「いいえ」を選び、□を押す

■ 本機が動作しなくなったときは

先の細いもの(ピンやまっすぐに伸ばしたペーパークリップなど)で本機の裏側のリセットボタンを押す

重要なお知らせ

パワーオフ時、「終了します」、「DB更新中」メッセージが表示されている間は、リセットボタンを押さないでください。本機のメモリが破壊されることがあります。

本機の設定をする(つづき)

メモリを初期化する(フォーマット)

本機のメモリを初期化(フォーマット)できます。初期化すると、記録された音楽ファイルや画像ファイル、ビデオファイルはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。

1 トップメニュー画面から＜/＞で「セッティング」メニューを選び、□を押す

「セッティング」画面が表示されます。

2 ∧/∨で「システム」を選び、□を押す

「システム」画面が表示されます。

■手順2の画面

3 ∧/∨で「フォーマット」を選び、□を押す

全データ消去の確認メッセージが表示されます。

4 ＜/＞で「はい」を選び、□を押す

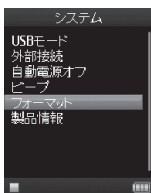
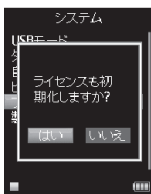
ライセンス消去確認画面が表示されます。

5 (ライセンス付き音楽ファイルが含まれている場合)必要に応じて＜/＞で「はい」または「いいえ」を選び、□を押す

「はい」を選択すると、配信音楽ファイルのライセンス情報が消去されます。
「いいえ」を選択すると、配信音楽ファイルのライセンス情報は消去せずに、フォーマットします。確認画面が表示されます。

■手順5の画面

6 ＜/＞で「はい」を選び、□を押す

メモリが初期化されます。

5-7. オーディオ機器と接続する

当社製マイクロコンポーネントシステムUX-GM77/GM70/GM50と本機をUSB接続するとWMA-DRM10ファイルのデジタル再生ができます。

著作権保護付(WMA-DRM10)ファイルをUX-GM77/GM70/GM50でデジタル再生できます

デジタルオーディオプレーヤーの著作権保護付(WMA-DRM10)ファイルをコンポでデジタル再生するには、USB接続する機器同士がUSBデジタルメディアストリーミングに対応している必要があります。本機とUX-GM77/GM70/GM50はUSBデジタルメディアストリーミングに対応しています。

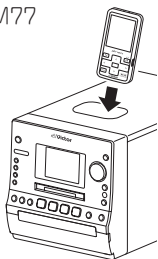
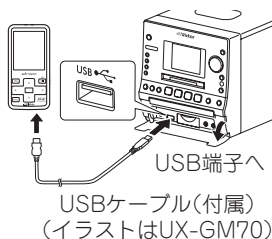
■ 本機の音楽ファイルをUX-GM77/GM70/GM50のメモリに転送(移動)できます。

UX-GM77/GM70/GM50から音楽ファイルを本機に転送(移動)することもできます。

- 本機の著作権保護付(WMA-DRM10)ファイルは転送(移動)できません。
- UX-GM77/GM70/GM50から本機に音楽ファイルを転送(移動)した場合は、UX-GM77/GM70/GM50で管理されているファイル名で本機に転送(移動)されます。

UX-GM77/GM70/GM50との本機の接続について、詳しくは、UX-GM77/GM70/GM50の取扱説明書をお読みください。

UX-GM77

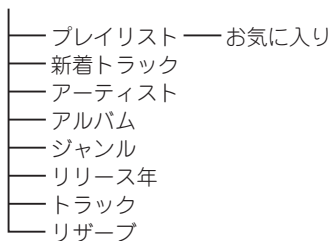
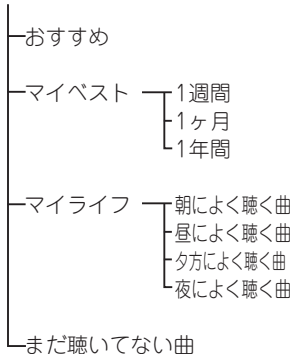
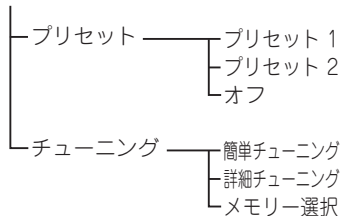
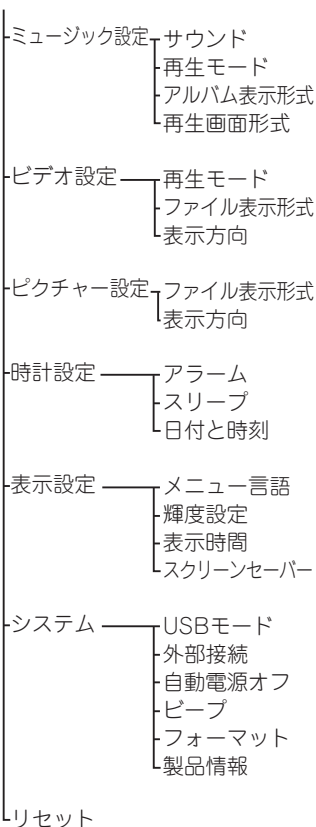
UX-GM70/GM50

USBケーブル(付属)
(イラストはUX-GM70)

5-8. メニュー階層とサブメニューの内容

トップメニュー項目のメニュー項目階層

サウンド工房メニュー

- プリセット
  - プリセット 1
  - プリセット 2
  - オフ
- チューニング
  - 簡単チューニング
  - 詳細チューニング
  - メモリー選択

セッティングメニュー

- ミュージック設定
  - サウンド
  - 再生モード
  - アルバム表示形式
  - 再生画面形式
- ビデオ設定
  - 再生モード
  - ファイル表示形式
  - 表示方向
- ピクチャー設定
  - ファイル表示形式
  - 表示方向
- 時計設定
  - アラーム
  - スリープ
  - 日付と時刻
- 表示設定
  - メニュー言語
  - 輝度設定
  - 表示時間
  - スクリーンセーバー
- システム
  - USBモード
  - 外部接続
  - 自動電源オフ
  - ビープ
  - フォーマット
  - 製品情報
- リセット

これらの機能と他のメニューをお使いになるときは、付属CD-ROMに収録されている詳細操作ガイドを参照してください。

メニュー階層とサブメニューの内容(つづき)

サブメニュー一覧

サブメニューの表示の仕方 → 各メニュー階層に入ってから本機のMENUを押し、∧/∨で項目を選ぶ。
サブメニューがない階層もあります。サブメニューを表示させる場所によって表示される項目は異なります。

メニュー	サブメニュー	設定内容
すべてのメニュー	再生画面	音楽/ビデオ再生画面を表示します。
ミュージック/フォルダ	再生	選択されている項目を再生します。
	アルバム表示形式	アルバム表示形式(タイトルのみ/ジャケットあり/ジャケットのみ)を切り替えます。
	リザーブ	選択されている項目をリザーブリストへ登録します。
	お気に入り登録	選択されている項目をお気に入りリストへ登録します。
	インデックスサーチ	検索したいファイルが含まれている項目でアーティスト名、アルバム名、曲名などの先頭文字から絞り込み検索します。
	選択オン/選択オフ	項目の選択オン/オフを切り替えます。
	全て選択/選択反転	項目を全選択/選択した項目を反転します。
	プロパティ	音楽ファイルのプロパティを表示します。
	削除	選択されている項目を削除します。
	プレイリスト保存	お気に入りに登録した曲をプレイリストとして保存します。
	移動	お気に入りリスト内で曲を移動します。お気に入り以外での移動はできません。
	再生画面形式	音楽再生画面の表示(通常/ジャケット大/スペアナ1/スペアナ2)を切り替えます。
	リピートモード	リピート再生モード(オフ/1曲/すべて/A-B)を切り替えます。

メニュー	サブメニュー	設定内容
ミュージック/フォルダ	ランダム再生	ランダム再生(オン/オフ)を切り替えます。
	イントロ再生	イントロ再生(オン/オフ)を切り替えます。
	ギャップレス再生	ギャップレス再生(オン/オフ)を切り替えます。
	再生速度	再生速度(速く/標準/遅く)を切り替えます。
	サウンド	サウンドモードを切り替えます。
ピクチャー	ファイル表示形式	ファイル表示形式(ファイル名のみ/サムネイルあり/サムネイルのみ)を切り替えます。
	表示方向	画像再生画面の表示方向(縦/横(右手用)/横(左手用))を切り替えます。
	スライドショー開始	スライドショーを開始します。
	スライドショー停止	スライドショーを停止します。
	選択オン/選択オフ	項目の選択オン/オフを切り替えます。
	全て選択/選択反転	項目を全選択/選択した項目を反転します。
	削除	選択されている項目を削除します。

⇒ 次のページへ

メニュー階層とサブメニューの内容(つづき)

メニュー	サブメニュー	設定内容
ビデオ	再生	選択されている項目を再生します。
	ファイル表示形式	ファイル表示形式(ファイル名のみ/サムネイルあり/サムネイルのみ)を切り替えます。
	表示方向	ビデオ再生画面の表示方向(縦/横(右手用)/横(左手用))を切り替えます。
	選択オン/選択オフ	項目の選択オン/オフを切り替えます。
	全て選択/選択反転	項目を全選択/選択した項目を反転します。
	リピートモード	リピートモード(オフ/1ファイル/すべて)を切り替えます。
	ランダム再生	ランダム再生(オン/オフ)を切り替えます。
	削除	選択されている項目を削除します。
	プロパティ	ビデオファイルのプロパティを表示します。

第6章　お問合せ・
アフターサービス

6-1. お困りのときは

ビクターサービス窓口へのお問い合わせの前に、以下をご確認ください。また、本機の表示窓にメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」もご確認ください。

■ 電源

「電源が入らない」などのトラブルに関する解決方法を説明します。

症状	原因	対処
本機の電源が入らない	内蔵充電池が十分に充電されていない	内蔵充電池を充電してください。
	本機内部でシステムが誤動作している	リセットボタンを押してください。(⇒93ページ)それでも電源が入らないときは、販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。
内蔵充電池の持続時間が短い	内蔵充電池が寿命に達している	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。
パソコンに接続しても「MTP接続中」にならず、「電池切れ」、「充電中　お待ちください」と表示される	充電中だが、まだ本機を動作することができない	約3~5分間お待ちください。表示可能になったら自動で電源が入り、画面が表示されます。

■ 再生

操作や再生時のトラブルに関する対処方法を説明します。

症状	原因	対処
ボタン操作に反応しない	HOLDになっている	HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドして解除してください。
	本機内部でシステムが誤動作している	リセットボタンを押してください。

付録

■ 再生（つづき）

症状	原因	対処
再生速度を変えても、再生速度が変わらない	サンプリング周波数が対応していない	本機は44.1k、48kHzにのみ対応しています。サンプリング周波数を対応値に変更してください。
曲間でノイズが出る	ギャップレス再生がオンになっている	ギャップレス再生をオンにしているときに曲によっては曲間でノイズが出ることがあります。ノイズが気になるときは、ギャップレス再生をオフにしてください。

■ パソコンとの接続

本機とパソコンの接続時やデータ転送時のトラブルに関する対処方法を説明します。

症状	原因	対処
本機がパソコンにMTPデバイスとして認識されない	Windows Media Player 11 がインストールされていない	Windows Media Player 11 をインストールしてください。 Windows XP Service Pack 2 がインストールされていない場合は、Service Packをインストールしてください。 Service Packがインストールされているか確認するには、パソコンの「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」–「全般」タブを表示してシステムを確認してください。

■ パソコンとの接続(つづき)

症状	原因	対処
本機がパソコンに認識されない	Windows XP Service Pack 2 をインストールしていない状態で、パソコンに Windows Media Player 11 をインストールした	Windows Media Player 11 をアンインストールして、Service Packをインストールした後、もう一度付属のCDで Windows Media Player 11 をインストールしてください。
	本機が正しく認識されていない。「不明なデバイス」としてパソコンに残っている	パソコンの「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」ー「ハードウェア」タブを表示して、デバイスマネージャーをクリックしてください。デバイスマネージャーに「不明なデバイス」が表示されていたら、削除してください。本機をパソコンから外してパソコンを再起動し、正しく起動したことを確認後、本機を再度接続してください。
容量の大きなファイルを本機からパソコンに取り込めない。	パソコンの環境により、発生します	本機の電源を入れて、USBモードを「MSC」に切り替えてから、付属のUSBケーブルでパソコンに接続してください。マスストレージクラス(MSC)で接続されます。パソコンのエクスプローラ画面でファイルを転送してください。

■ パソコンとの接続(つづき)

症状	原因	対処
alneo Vのアップデータのボタンが有効にならない	本機がMTPで接続していない。MSCで接続されている	本機の設定メニューー「システム」ー「USBモード」を「オート」にしてください。
パソコンが起動しない	パソコンが正しく起動していないときに、本機をパソコンに接続した	本機をパソコンから外して、パソコンを正しく起動してから、本機を接続してください。

6-2. メッセージ一覧

表示窓に表示されるメッセージに応じて、次の対処方法を確認してください。

システムエラーメッセージ

表示メッセージ	内容	対処
FS Critical Error	ファイルシステムに異常が発生している。	お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
SYS Error:□□ (□□:エラー番号)	システムに異常が発生している。	フォーマットもしくは「alneo Vアップデータ」を使用して「初期化」(*)してください。それでも問題が発生する場合は、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
File systemが壊れています。フォーマットしてください。	File systemが壊れています。	フォーマットしてください。
File system を修復しました。破損していたファイルは削除されました。	ファイルが破損しています。	破損していたファイルを自動で本機から削除しました。
ディスクチェック中	ファイルシステムに問題が発生しているため、修復します。	表示が消えるまでお待ちください。問題が発生したファイルについては自動的に消去されます。

その他のメッセージ

表示メッセージ	内容	対処
Battery Error ▣が表示される	内蔵充電池に異常が発生している。	お買い上げの販売店にご相談ください。
System File Error	システムファイルがない。	「alneo Vアップデータ」を使って、「初期化」(*)してください。
電池切れ	本機の電池残量がない。	本機を充電してください。

付録

その他のメッセージ(つづき)

表示メッセージ	内容	対処
充電中　お待ちください	充電中ですが、まだ本機を動作することができません。	もうしばらく、充電を継続してください。
Low Temp. (を表示)	本機の温度が低い。	温度が充電可能範囲(5℃～35℃)に上がるまでお待ちください。
High Temp. (を表示)	本機の温度が高い。	温度が充電可能範囲(5℃～35℃)に下がるまでお待ちください。
ライセンスがありません。PCと再同期してください	ライセンスの切れた配信曲を再生しようといている。	パソコンと同期をとり、ライセンスを取得してください。
再生出来ません	再生できない音楽ファイルを再生しようとしている。	このファイルをスキップして、次のファイルを再生してください。
表示出来ません	表示できない画像ファイルを表示しようとしている。	</>で別のファイルにスキップできます。
空き容量がありません	メモリーの空き容量がなくなった。	ファイルを消して空き容量を増やしてください。
Format Storage ?	ファイルシステムに問題が発生している。	強制的にフォーマットします。を押すとフォーマットが実行されます。すべてのデータが消去されます。
最大登録数を超えました	トラック、ファイル、ディレクトリの最大数を超えた。	本機からデータを削除してください。
名前を変更できません。	名前がない。	名前をつけてください。
ライセンスが最大登録数を超えました。これ以上登録できません。	ライセンスが最大登録数を超えている。	ライセンスを消去してください。ライセンスを消去するにはフォーマットが必要です。(⇒ 94ページ)
充電が中断されました	パソコンが休止、スタンバイになっているため、充電ができなくなっている。	パソコンが休止、スタンバイにならないよう、パソコンの電源設定を変更してから充電してください。

(＊) 初期化を行なうためには、事前にホームページから最新のファームウェアをパソコンにダウンロードしておいてください。

付録

6-3. 本機を廃棄するときのご注意

■ 充電式電池について

本機に内蔵されている充電池はリサイクルできます。
充電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。
本機を廃棄するときは、ビクターサービス窓口にご相談ください(別紙「ビクターサービス窓口案内」参照)。

Li-ion

6-4. 仕様

型名	XA-V80-W/-B/-R/-A	XA-V40-W/-B/-R/-A	XA-V20-W/-B/-R/-A
形式	デジタルオーディオプレーヤー		
内蔵メモリー容量	8GB※	4GB※	2GB※
最大保存曲数 (WMA 128kbps 4分/1曲)	約2020曲	約990曲	約490曲
再生対応フォーマット	MP3(8kbps〜320kbps,8kHz〜48kHz,VBR)/ WMA(8kbps〜320kbps,8kHz〜48kHz,VBR)/ WMA-DRM10/WAV(16bit,リニアPCM)		
動画対応フォーマット	WMV 映像　解像度:最大320×240ﾋﾟｸｾﾙ、ﾌﾚｰﾑﾚｰﾄ:最大30fps ﾋﾞｯﾄﾚｰﾄ:最大512kbps、ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ:ｼﾝﾌﾟﾙﾋﾞﾃﾞｵﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ 音声　ﾁｬﾝﾈﾙ数:最大2ch、ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ周波数:44.1kHz ﾋﾞｯﾄﾚｰﾄ:最大128kbps		
画像対応フォーマット	JPEG対応,　プログレッシブJPEG非対応		
インターフェース	ヘッドホン(ステレオミニジャック)×1　14Ω〜47kΩ USB2.0 HS(mini-B)×1		
チャンネル数	２チャンネル･ステレオ		
再生周波数特性	30Hz〜20kHz		
実用最大出力	20mW＋20mW(JEITA*/DC)16Ω		
動作温度	再生 0℃〜40℃ / 充電 5℃〜35℃		
最大外形寸法	幅44.5mm×高さ89.3mm×奥行き10.5mm 幅44.0mm×高さ89.3mm×奥行き9.9mm(突起部を含まず)		
質量	46g		
電源	内蔵リチウムイオン充電池		
充電時間	最大約 3.5時間 5V/500mA 供給可能なUSBポートまたは、専用のUSB ACアダプター(AA-R513)を使用してください。		

※ メモリー容量の一部をシステム領域に使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示より少なくなります。

* JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

●電池持続時間

再生時 (JEITA ＊)	MP3 (128kbps/44.1kHz)	約25.5時間※1
	WMA (128kbps/44.1kHz)	約24.5時間※1
	WAV (16bit, リニアPCM)	約28.5時間※1
	WMV (映像:384kbps、音声:64kbps)	約6時間※2

電池持続時間は計算値です。使用状況により異なります。
※1 スタジオセッティング/K２テクノロジー/サウンドエフェクト/マニュアルＥＱ:オフ
表示時間:30秒　スクリーンセーバー:オフ
※2 輝度設定:輝度3
＊ JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

●楽曲収録時間

MP3/WMA	XA-V80(8GB)	XA-V40(4GB)	XA-V20(2GB)
320kbps	約54時間 約800曲	約26時間 約390曲	約13時間 約190曲
256kbps	約67時間 約1010曲	約33時間 約490曲	約16時間 約240曲
192kbps	約90時間 約1340曲	約44時間 約660曲	約21時間 約320曲
160kbps	約107時間 約1610曲	約53時間 約790曲	約26時間 約390曲
128kbps	約134時間 約2020曲	約66時間 約990曲	約32時間 約490曲
96kbps	約179時間 約2690曲	約88時間 約1320曲	約43時間 約650曲
64kbps	約269時間 約4040曲	約132時間 約1980曲	約65時間 約970曲
32kbps	約539時間 約8080曲	約264時間 約3960曲	約130時間 約1950曲

メモリー容量の一部をシステム領域に使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示より少なくなります。

●動画収録時間

WMV	XA-V80(8GB)	XA-V40(4GB)	XA-V20(2GB)
映像384kbps 音声64kbps	約39時間	約19時間	約9時間

メモリー容量の一部をシステム領域に使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示より少なくなります。

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

6-5. 索引

アルファベット・マーク

あ行

か行

さ行

付録

た行

は行

付録

索引（つづき）

ま行

ら行

付録

6-6. 保証とアフターサービスについて

必ずお読みください

保　証　書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎(　　)　－

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、
下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	0120−2828−17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話（045)450-8950 FAX（045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取扱いについて
ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ
http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0608KMMCREJMM